

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	16HP2004	事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
日本の経営学研究の国際情報発信と利 活用の促進		特定非営利活動法人 グローバルビジネスリサー チセンター	理事長 高橋 伸夫
学術刊行物の名称			(略称)
Annals of Business Administrative Science			ABAS

【平成 30 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
○ A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>当初の取組目標のうち、「年間掲載論文数を 50 本に倍増させる」という目標を除いて、APC(Article Processing Charge)導入、論文投稿から公開までの平均日数の短縮、Annals of Business Administrative Science(ABAS)コンファレンスの開催回数の増加をはかった結果、投稿論文数の増加が顕著に見られるようになった。さらに掲載論文へのアクセス数、ダウンロード数も着実に伸びており、掲載論文はまだ目標に達していないが、順調な経過を辿っているように思える。</p> <p>ただし、海外からの投稿は 2018 年の 10 月時点で 2 本と少なく、海外からのエディター、レフェリーはゼロである。日本の研究者の国際情報発信力強化を目的としていることは評価できるが、その一方で、海外への浸透法を検討し、実行することで、一層の国際化を図ることが望まれる。</p>	